

課題の整理

令和 4 年 12 月 23 日

静岡県地域公共交通活性化協議会事務局

富国強種の理想郷 - しずおか
ふじのくに



1

目 次

- 1 目標・現状・問題
- 2 問題点の抽出
- 3 課題の整理

1 目標・現状・問題

目標

持続可能な社会を支える公共交通

誰もが移動に困らない質の高いサービスの提供



現状

コロナ禍で利用者の減少、収支の悪化、運転者等の不足などが顕在化し、公共交通サービスの確保が困難となる危機に直面している

問題

現状が続いた場合、公共交通のサービスが低下する、更には公共交通自体が途絶することで、移動困難者をはじめ県民のQOL（生活の質）を著しく損なう恐れがある。

3

2 問題点の抽出

視点	問題点
住民・社会	a 増加の見込まれる交通弱者が移動手段を失う。
	b サービスの低下、減便等で移動の制約を受ける。
	c 依然として残る交通渋滞、交通事故、脱炭素化の遅れへの対応を要する。
事業者	d 利用者減少に伴い、交通事業者が運行する公共交通の収支がさらに悪化する。
	e 運転手不足の深刻化で、減便、廃止リスクが生じ、従業員の労働環境が悪化する。
行政	f 利用者減少に伴い、市町が運行する公共交通の収支が悪化し、交通事業者への補助金等が増加する。
	g 増加が見込まれる交流客、大都市圏からの転入者を取り込めなくなる。
	h 生活必需サービスの維持が困難となり、地域の存続自体が危うくなる。

4

3 課題の整理 (1/4)

	課 題
A	県内各地を結ぶ公共交通ネットワークを維持する必要がある。
B	公共交通の安全・安心を確保する必要がある。
C	地域のニーズ、利用者のニーズに応じた移動手段を用意する必要がある。
D	交流の増加を見据え、県民と交流客双方の視点で、公共交通の利便性を高める必要がある。
E	公共交通の存在を地域資源として位置付け、県民の利活用を促す必要がある。

厳しい現状の中、**今ある輸送資源の上手な活用**と**効果的な配置**がポイント₅

3 課題の整理 (2/4)

問題点と課題の相関

視点	問 題 点	課 題
住民・社会	a 増加の見込まれる交通弱者が移動手段を失う。	A 県内各地を結ぶ公共交通ネットワークを維持する必要がある。
	b サービスの低下、減便等で移動の制約を受ける。	B 公共交通の安全・安心を確保する必要がある。
事業者	c 依然として残る交通渋滞、交通事故、脱炭素化の遅れへの対応を要する。	C 地域のニーズ、利用者のニーズに応じた移動手段を用意する必要がある。
	d 利用者減少に伴い、交通事業者が運行する公共交通の収支がさらに悪化する。	D 交流の増加を見据え、県民と交流客双方の視点で、公共交通の利便性を高める必要がある。
行政	e 運転手不足の深刻化で、減便、廃止リスクが生じ、従業員の労働環境が悪化する。	E 公共交通の存在を地域資源として位置付け、県民の利活用を促す必要がある。
	f 利用者減少に伴い、市町が運行する公共交通の収支が悪化し、交通事業者への補助金等が増加する。	
	g 増加が見込まれる交流客、大都市圏からの転入者を取り込めなくなる	
	h 生活必需サービスの維持が困難となり、地域の存続自体が危うくなる	

3 課題の整理（3/4）

各地域分科会で、地域のニーズを抽出し、課題を整理した。

	課題
伊豆	<ul style="list-style-type: none">・観光客の需要、観光地の分布に応じた魅力的な移動手段を用意する必要がある。・交通空白地の需要に応じた移動手段を用意する必要がある。・シェアサイクルや電動キックボードなど、観光客向けの超小型モビリティの活用可能性を検討する必要がある。
東部	<ul style="list-style-type: none">・富士駅 - 新富士駅間、沼津駅から御殿場線各駅など交通結節点間の接続を改善する必要がある。・集客施設や観光地へのアクセスを、自家用車以外の移動手段に振り向ける必要がある。・地元企業との連携により、混雑時間を分散化し、公共交通のダイヤや便数などを改善する必要がある。

7

3 課題の整理（4/4）

各地域分科会で、地域のニーズを抽出し、課題を整理した。

	課題
中部	<ul style="list-style-type: none">・高齢者、バス停が遠い方、タクシーが使えない方、家族の送迎が受けられない方などの交通手段を確保する必要がある。・タクシー事業者や近隣市町などと連携し、デマンド交通を効率化・合理化する必要がある。
西部	<ul style="list-style-type: none">・輸送資源のフル活用により、鉄道駅から目的地までの移動手段を用意する必要がある。・パークアンドライドなど、自動車・自転車と公共交通を組み合わせた移動を促進する必要がある。・利便性の向上などにより、南北の長距離バス路線を確保していく必要がある。

8